

プラント状況確認結果(平成28年10月11日～平成28年10月18日)

平成28年10月18日
福島県原子力安全対策課

平成28年10月11日～平成28年10月18日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

(1) プラント状況(10月18日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量(m ³ /h)	4.2	4.4	4.3	—
		圧力容器 下部温度(°C)	25.4	30.3	29.3	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³)(A系)	8.60×10 ⁻⁴	検出限界値 未満	検出限界値 未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (体積%)(A系)	0.01	0.02	0.04	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	22.8	20.8	20.6 ^{※4}	26.0

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 実施計画に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

※4 作業に伴い、3号機使用済燃料プール代替冷却システムの二次系停止中。なお、使用済燃料プールの温度上昇率は0.092°C/h程度と評価。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(10月18日午前10時)

最小 0.602 (MP-6) ～ 最大 2.152 (MP-4) マイクロシーベルト/時 [⇒計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(10月17日採取分)

最小 検出限界値未満(港湾口) Bq/ℓ ※検出限界値は約0.39 Bq/ℓ
～ 最大 4.7 (1～4号機取水口内南側) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(10月17日採取分)

5,6号機放水口から北側に30m: 検出限界値未満 ※検出限界値は約0.72 Bq/ℓ
1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界値未満^{※5} ※検出限界値は約0.66 Bq/ℓ
※5 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1～4号機放水口から南側に約330m地点において試料を採取。(2016年9月16日～)

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(10月17日採取分)

西門: 検出限界値未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(10月17日採取分)

最小 検出限界値未満(3,4号機) ※検出限界値はそれぞれ約5.0、4.4 Bq/ℓ
～ 最大 140 (1号機) Bq/ℓ

(問い合わせ 024-521-7255)